



# 戸田ヶ原 リポート

秋色に染まった戸田ヶ原自然再生エリア第1号地。今回は、9月から10月の戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の様子と保全管理作業について、ご報告します。



キタ  
キチョウ

10月上旬に多数のキタキチョウが見られました。園路沿いや丈の低い草場で、ノハラアザミなどの花を吸蜜したり、交尾したりしていました。

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、さまざまな生きものがくらせるように、低い草丈で維持する区画を設け、保全管理作業を行っています。9月9日に、戸田ヶ原サポーターの方々と戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の刈り取った草の運び出しを行いました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



ショウリョウ  
バッタ  
モドキ



管理  
作業



ショウリョウバッタモドキは、埼玉県内での分布が限られている種です。戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、2012年に初めて確認し、3年連続で見られています。



タカ  
アザミ

荒川の上流側から株をいただき導入したタカアザミが、花を咲かせました。茎の高さが2m以上になり、下向きに花を着けます。

## 戸田ヶ原再生地の散策と野草の植栽ボランティアを開催

10月18日に、23名の方々に参加いただき、戸田ヶ原再生地の散策と野草の植栽ボランティアを開催しました。彩湖・道満グリーンパーク内を歩きながら、戸田ヶ原自然再生の取り組みについてお話ししました。また、戸田ヶ原自然再生の対象区域に種子から育成したチョウジソウを植え付けました。



## 戸田ヶ原サポーター活動予定

まきば幼稚園の年長園児とともに、彩湖・道満グリーンパーク内でハンノキの植樹を、11月18日(火)に行う予定です(雨天の場合は11月20日に延期)。活動への参加を希望される方は、時間や集合場所などの詳細をお伝えしますので、事前に環境政策課までご連絡ください。

## メダカ(ミナミメダカ)

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のメダカを紹介します。

メダカは、水田や池沼、流れのゆるい小川といった生息環



境の消失や外来種の影響などにより、全国的に生息数が激減しています。戸田市内に田んぼが広がっていた頃は、メダカがよく見られたそうです。荒川の旧流路の一部を利用してつくられた道満河岸釣り場の水辺では、現在でもメダカが確認されています。残された生息地を守っていくことが重要です。

日本国内のメダカは、従来1種とされていましたが、北日本集団と南日本集団が別種とみなされ、キタノメダカとミナミメダカの和名がつけられました。埼玉県にはミナミメダカが分布します。

## ワレモコウ情報

育成中のワレモコウは、葉が黄色を帯びてきました。このまま地上部は枯れますが、根は生きています。朝の水やりは続けてください。



JR埼京線またはJR武蔵野線  
武蔵浦和駅より「下笹目行」バス乗車  
「彩湖・道満グリーンパーク入口」  
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より  
tocoバス美笹循環乗車  
「道満」下車徒歩8分

